

個人投資家向け 会社説明会

1. 会社概要
2. 2017年3月期の概要
3. 2018年第1四半期の概要

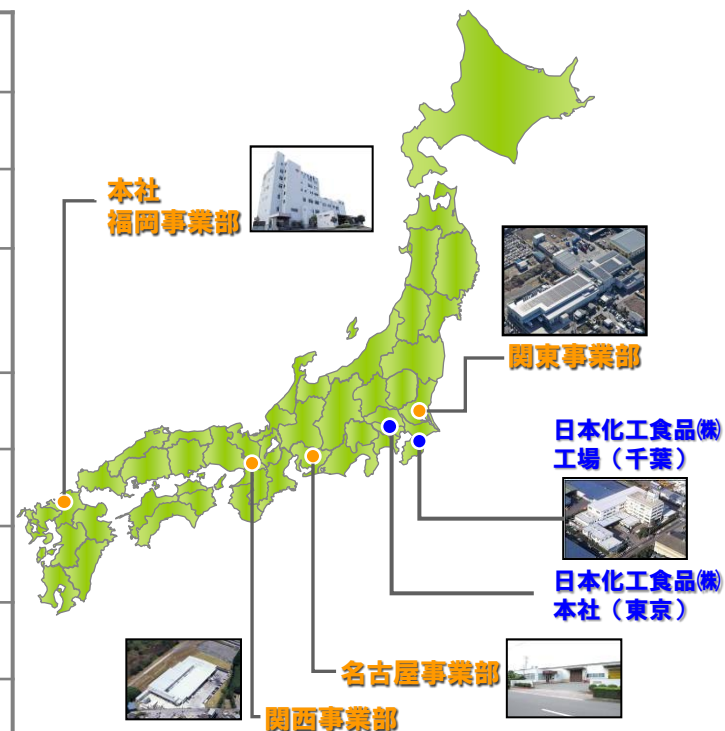
2017年3月2日 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました



1. 会社概要

(1) 会社概要 (イフジ産業)

■会社名	イフジ産業株式会社
■設立	1972年(昭和47年)10月
■本社所在地	福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
■従業員数	474名(イフジ産業417名、日本化工食品57名) ※臨時従業員含む:2017年3月末現在
■代表取締役社長	藤井 宗徳
■資本金	455百万円
■連結売上高	14,248百万円(イフジ単体:13,029百万円)(2017年3月期)
■連結経常利益	681百万円(イフジ単体:644百万円)(2017年3月期)
■時価総額	7,436百万円(2017年3月末時点)
■発行済株式数	8,345,370株(2017年3月末時点)
■単元株式数	100株
■上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 福岡証券取引所 本則市場
■証券コード	2924
■グループ会社	日本化工食品株式会社 一房総味株式会社



経営理念



(2) 会社の沿革 (イフジ産業)

1972.10月	福岡市中央区桜坂にイフジ産業株式会社を設立。
1973.09月	福岡県糟屋郡粕屋町(現本店所在地)に本社工場完成、液卵の製造販売を開始。
1974.08月	千葉県市川市に関東営業所設置。
1981.12月	茨城県水戸市に日配水戸販売株式会社と合併で株式会社関東イフジを設立。
1982.05月	株式会社関東イフジ水戸工場が完成し、関東地区での生液卵の製造販売を開始。関東営業所を水戸市に移転。
1983.04月	福岡県嘉穂郡穂波町の有限会社日の丸食品を買収、株式会社に組織変更。
1987.10月	日の丸食品株式会社の社名を株式会社イフジフーズに変更。
1988.03月	首都圏での販売量の拡大に伴い、株式会社関東イフジ水戸工場を増設。
1988.04月	株式会社イフジフーズにて、ゆで卵の製造販売を開始。
1989.05月	奈良市に(株)関西イフジを設立、近畿圏での液卵の製造販売を開始。大阪営業所を移転し関西営業所と改称。
1990.03月	三重県上野市の有限会社カネヒロ食品を買収、株式会社に組織変更。
1996.04月	製販一体化のため、(株)関東イフジ、(株)関西イフジ、(株)カネヒロ食品、(株)イフジフーズを合併する。
1996.07月	本店所在地を福岡市中央区桜坂から福岡県糟屋郡粕屋町(現本社住所)に移転。
1996.10月	愛知県安城市に名古屋事業部を設置、中京圏での生液卵の製造販売を開始。
1998.08月	三重事業部を閉鎖。
2001.05月	関東事業部の新工場が完成。
2001.08月	日本証券業協会に店頭登録(現在の東京証券取引所JASDAQ)。
2004.03月	京都府綴喜郡井手町に関西事業部新工場が完成し、関西事業部を移転。奈良工場は閉鎖。
2009.11月	東京都千代田区の日本化工食品株式会社の全株式を取得し、グループ化。
2011.08月	福岡証券取引所(本則市場)に上場。
2012.05月	東京証券取引所(市場第二部)に上場。
2013.02月	太陽光発電事業の開始。
2015.10月	一房総味株式会社設立。
2017.03月	東京証券取引所市場第一部銘柄指定。

【鶏卵関連事業】イフジ産業(株)

原料調達



※画像はイメージ



イフジ産業 (株)

割卵・殺菌・充填



液卵・冷凍卵



茶碗蒸しベースetc



ボイル・脱殻・殺菌

ゆで卵

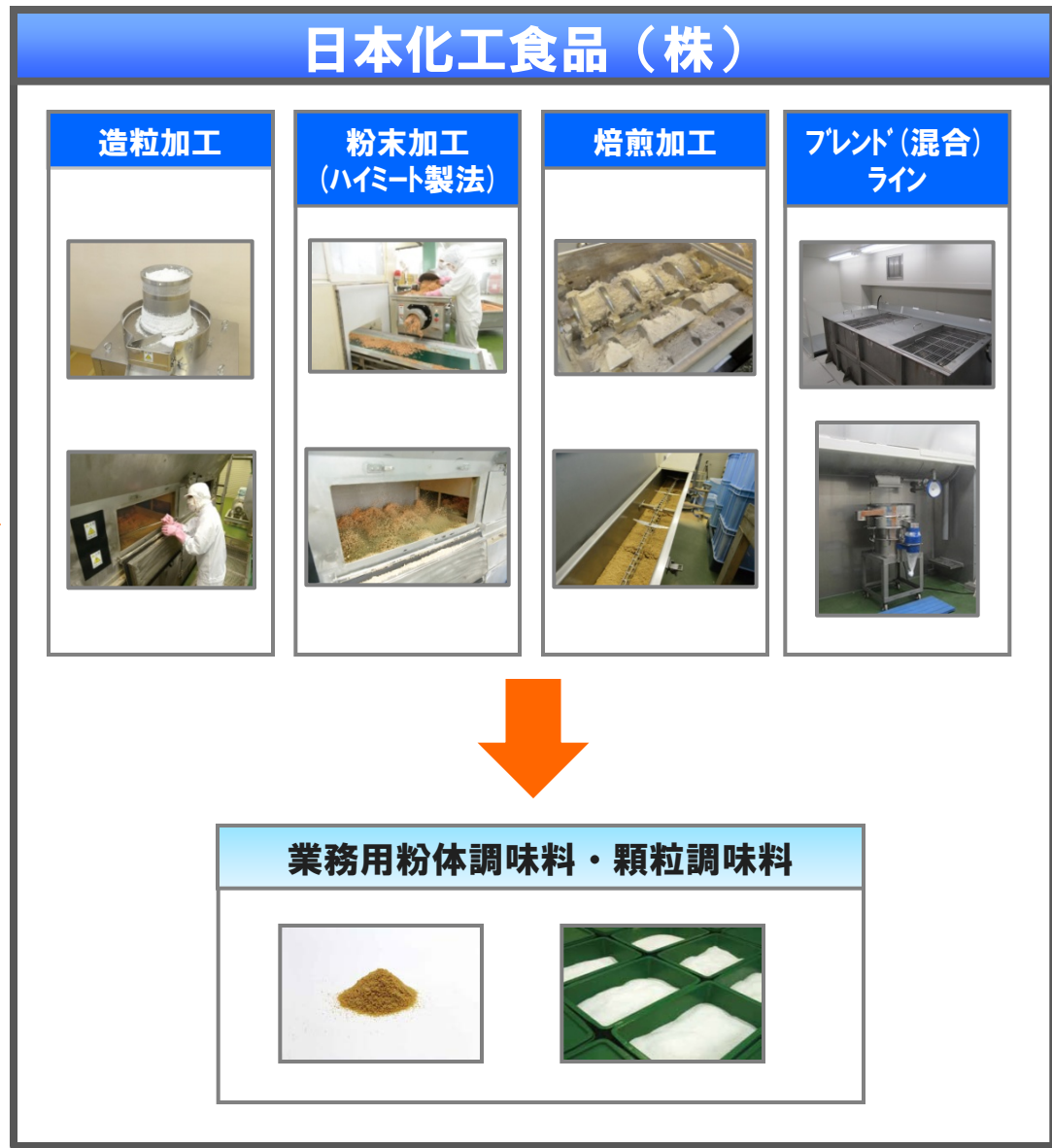


食品の原料へ



※画像はイメージ

【調味料関連事業】 日本化工食品(株)



原料調達



※画像はイメージ



食品の原料へ



※画像はイメージ

液卵・冷凍卵とは・・・?

鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称される。
(凍結したものが冷凍卵)



イフジ産業

液卵・冷凍卵の種類・用途

品 種	種 別	主 な 用 途
全 卵	ホール	ケーキ、洋菓子、和菓子
	全卵	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ
	加糖全卵	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	パン、ビスケット、クッキー
卵 黄	卵黄	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	マヨネーズ
卵 白	卵白	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	洋菓子、和菓子

液卵・冷凍卵使用のメリット

①作業効率	割卵の手間が省け衛生的
②品質の安定性	製品の均質化がはかれる
③経済性	原料費の不安定さを抑える
④貯蔵性	凍結すれば長期保管が可能
⑤作業環境	保管・輸送効率がよくなる 二次汚染を防ぐことができる

日本化工食品

業務用調味料の種類・用途

品 種	種 別	主 な 用 途
粉末調味料	畜肉系粉末製品	粉末スープ
	海鮮系粉末製品	生地練り込み、粉末スープ
	その他調味料製品	スナックシーズニング
顆粒調味料	和風タイプ	各種テーマに幅広く使用可能
	中華タイプ	各種テーマに幅広く使用可能
	油脂タイプ	粉末スープ
	その他製品	生地練り込み、トッピング
焙煎調味料	畜肉系粉末製品	粉末スープ
	海鮮系粉末製品	生地練り込み、粉末スープ
	その他調味料製品	粉末スープ等

(5) 事業部ネットワーク (イフジ産業)

全国4工場のネットワークで
全国への供給を可能に！！

大消費地に隣接したお客様重視の
工場立地は市場開拓の大きな
アドバンテージ。

関西事業部 (京都府・井手町)



販売量
約12,232 t

関東事業部 (茨城県・水戸市)



販売量
約20,725 t

福岡事業部 (福岡県・粕屋町)

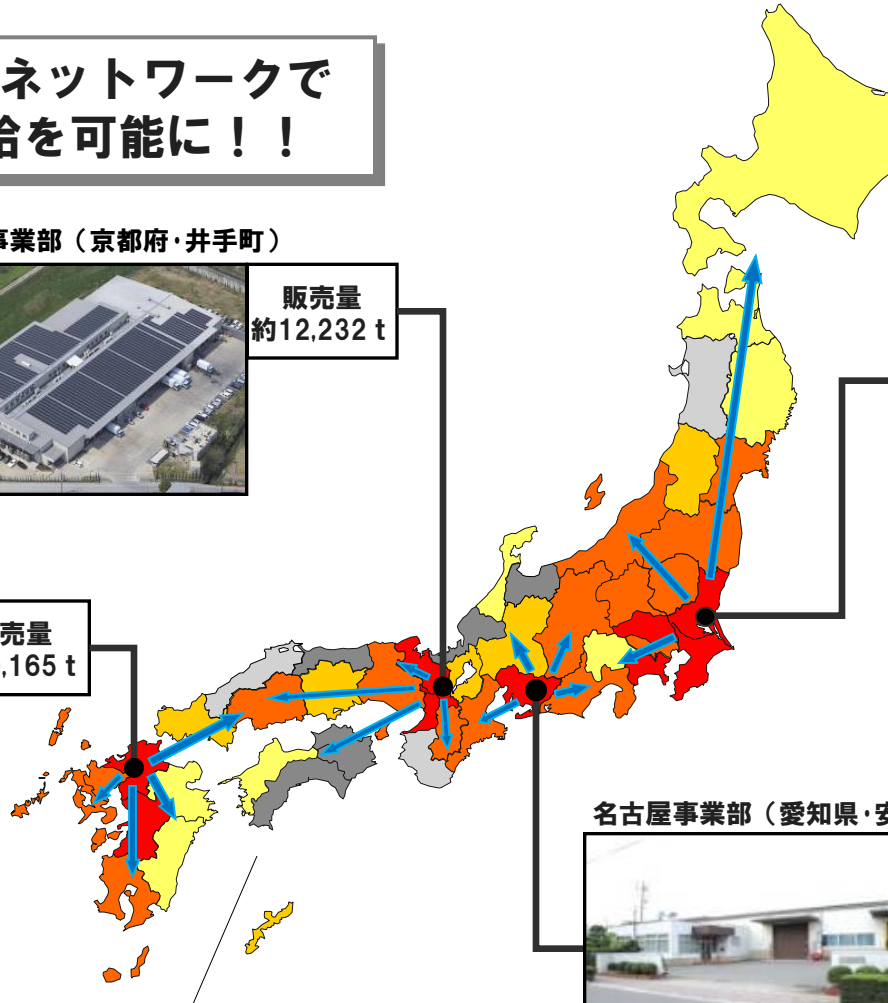


販売量
約10,165 t

名古屋事業部 (愛知県・安城市)



販売量
約6,668 t



2017年3月期都道府県別販売実績
(商社等経由での供給先も含む)

2017年3月期	
500百万円以上	■
100百万円以上	■
50百万円以上	■
10百万円以上	■
3百万円以上	■
0百万円以上	■
0	■

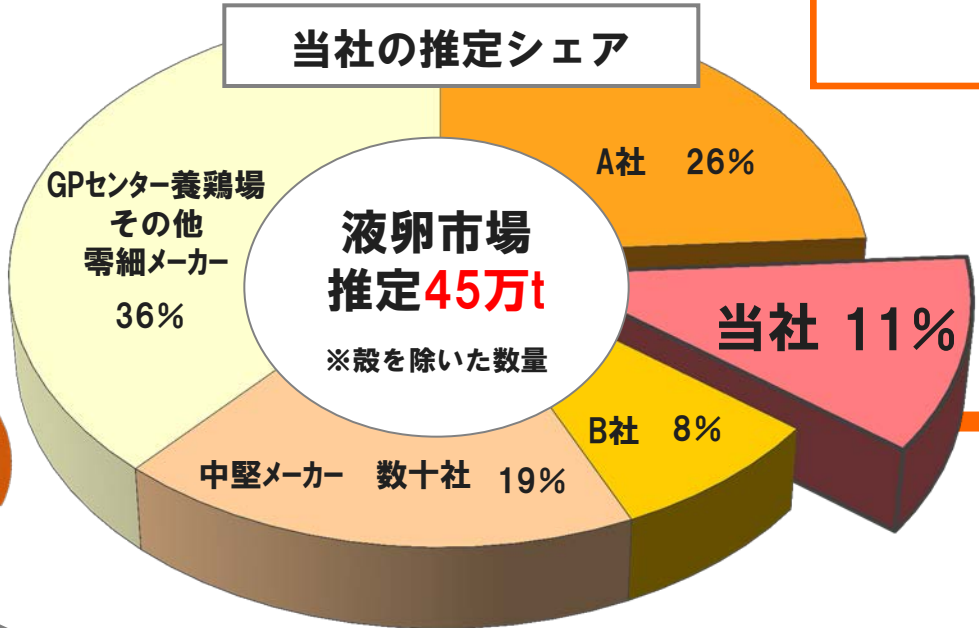
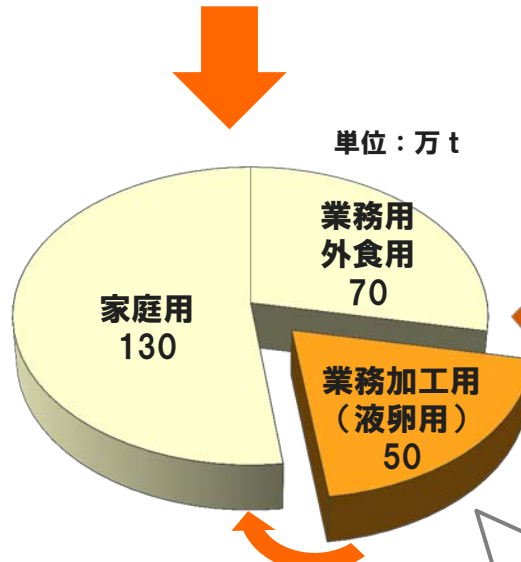
※販売量は2017年3月期実績 (単体) による

(6) 当社の液卵業界推定シェア



**年間約10億個の
鶏卵を使用**
※1年=365日
Mサイズを基準として計算

**当社
鶏卵使用量
約5.3万t**
国内生産量の
約2%を使用
※殻付卵



・単身世帯の増加
・高齢化社会の進展
・女性の社会進出
・人手不足

**コンビニ、中食需要の拡大、
飲食店での液卵使用の拡大により
液卵市場も今後拡大**

※推定シェアは2007年度実績に基づいて算出
液卵市場規模及びシェアは(社)日本卵業協会製作の
「鶏卵及び鶏卵加工品流通実態調査報告書」を元に
当社が推定したもの

営業：お客様が求める商品を安定供給

- ・顧客ニーズに沿った商品の提案
- ・研究開発との連携による提案の強化
- ・配送ルート見直し等の合理化推進
- ・製菓製パン以外の販路拡大

各種システム活用による
連携強化と効率営業の推進！

製造：安全・安心な製品を提供

- ・6S活動の徹底
(6S：整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・節約)
- ・低コストオペレーションの推進
- ・環境への配慮
- ・食品安全マネジメントシステムの導入

卵殻のリサイクル化

Green Techno 21 との取り組み

太陽光発電事業

屋根に太陽光パネル設置

- ・イフジ産業：関西工場、関東工場
- ・日本化工食品：千葉工場

収益力の強化 企業価値の向上



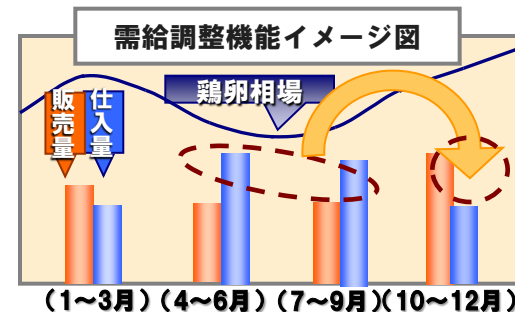
国内においても 持続的に成長可能

- ・国内に焦点を絞った販売の継続
- ・国内シェア15%を目標に設定

購買：仕入システムの多様化

- ・格外卵の調達
- ・需給調整機能の発揮
- +
- ・安定供給の為に必要量確保 (委託生産の拡大)
- ・輸入卵の取扱い

仕入システムの多様化による
鳥インフルエンザのリスクを回避



管理：1人当たりの生産性向上

- ・お客様ニーズに特化した商品開発
- ・目標管理制度による自主責任経営の徹底
- ・提案制度によるコスト削減の推進

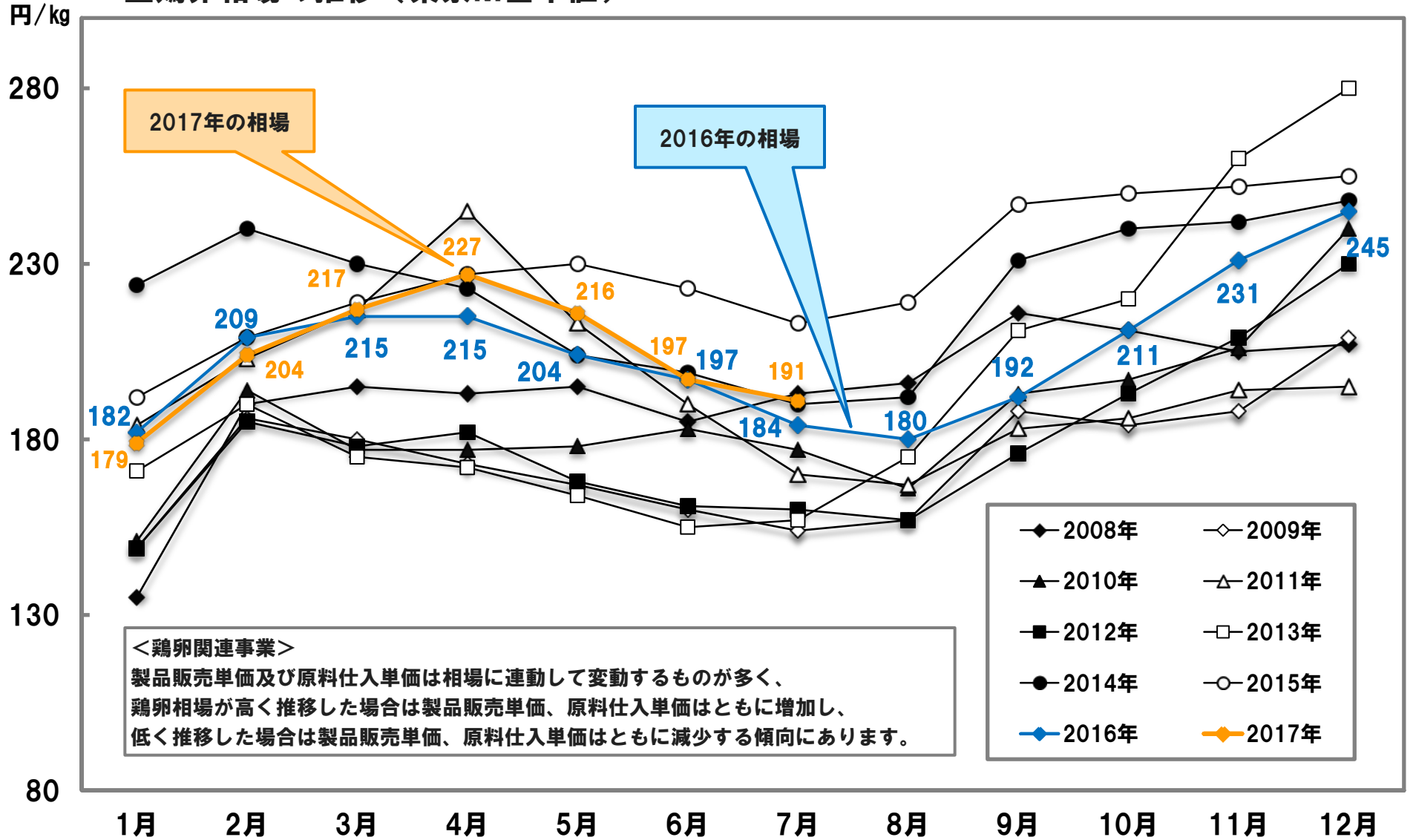
M&A：シェア拡大・新たな収益源の構築

- ・業務提携・買収等による業容の拡大
- ・鶏卵業界：中小零細の淘汰・大型生産者への集約
- ・養鶏業者減 (H17年3,740戸→H27年2,240戸) ※

鶏卵業界の生存競争の激化

2. 2017年3月期の概要

■ 鶏卵相場の推移 (東京M基準値)



(8) 2017年3月期決算の概要 (連結)

■要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年 3月期 (連結)	2017年 3月期 (連結) 公表予想	2017年 3月期 (連結)	対前期 増減率	対予想 増減率
売上高	14,478	14,088	14,248	▲1.6%	+1.1%
売上原価	12,251		11,922	▲2.7%	
売上総利益	2,226		2,325	+4.4%	
販売・管理費	1,584		1,662	+4.9%	
営業利益	642	677	663	+3.3%	▲2.0%
経常利益	665	677	681	+2.4%	+0.5%
特別利益	10		110	補助金収入	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	434	443	533	+22.7%	+20.3%
1株当たり 利益(円)	52.21	53.22	64.04	+22.7%	+20.3%

売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも公表予想を上回った。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は **3期連続増益** を達成。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は **過去最高** となった。

■補助金収入 (百万円未満切捨)

イフジ産業：関東工場増設36百万円 名古屋事業部排水設備57百万円

日本化工食品：エネルギー合理化15百万円

■セグメント別売上高 (単位：百万円※セグメント間売上含む)

セグメント別	2016年 3月期	2017年 3月期	増減率
鶏卵関連事業	13,261	13,011	▲1.9%
調味料関連事業	1,289	1,321	+2.5%
その他	20	21	+3.9%

■セグメント別利益

(単位：百万円)

セグメント別	2016年 3月期	2017年 3月期	増減率
鶏卵関連事業	551	591	+7.3%
調味料関連事業	83	67	▲19.6%
その他	7	4	▲35.2%

■鶏卵関連事業

販売数量は前期比5.0%増加
(過去最高の販売数量を達成！)
⇒セグメント利益前期比7.3%増

■調味料関連事業

大手即席麺・スナックメーカーへ販路拡大
⇒売上高前期比2.5%増
得意先の販売商品の構成変更による一部製品の
棚卸廃棄損
エネルギー使用合理化等事業者支援補助金の
支援対象事業に係る一時的な費用発生
⇒セグメント利益前期比▲19.6%

■その他 ⇒売上高前期比+3.9%増

(9) 2017年3月期決算の概要 (イフジ産業単体)

■要約損益計算書

(単位：百万円)

	2016年 3月期 (単体)	2017年 3月期 (単体) 公表予想	2017年 3月期 (単体)	対前期 増減比	対予想 増減比
販売数量 (トン)	47,397		49,789	+5.0%	
売上高	13,278	12,804	13,029	▲1.9%	+1.8%
売上原価	11,271		10,912	▲3.2%	
材料費	8,644		7,608	▲12.0%	
売上総利益	2,006		2,117	+5.5%	
販売管理費	1,448		1,521	+5.1%	
営業利益	558		595	+6.7%	
経常利益	607	615	644	+6.1%	+4.8%
特別利益	0		94		補助金収入
当期純利益	391	406	503	+28.5%	23.9%
1株当たり 利益(円)	46.99	48.79	60.40	+28.5%	23.9%

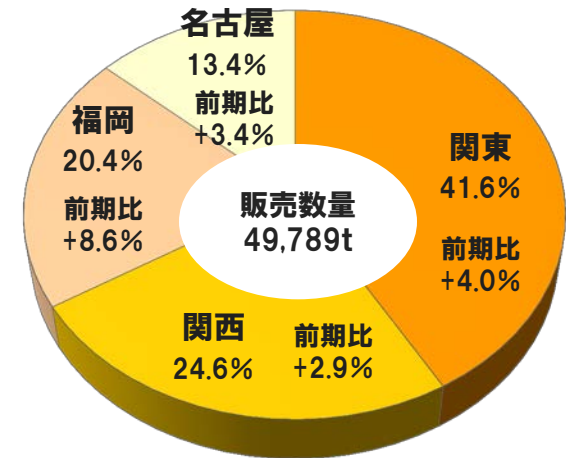
営業利益、経常利益、当期純利益は **3期連続増益**。

当期純利益は **過去最高** を達成。

■補助金収入 (百万円未満切捨)

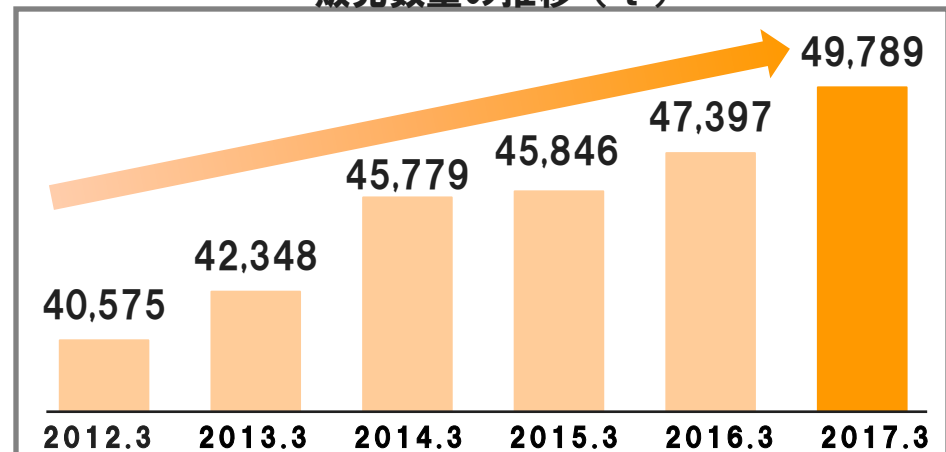
関東工場増設36百万円 名古屋事業部排水設備57百万円

事業部別販売数量構成比



全事業部で販売数量増加

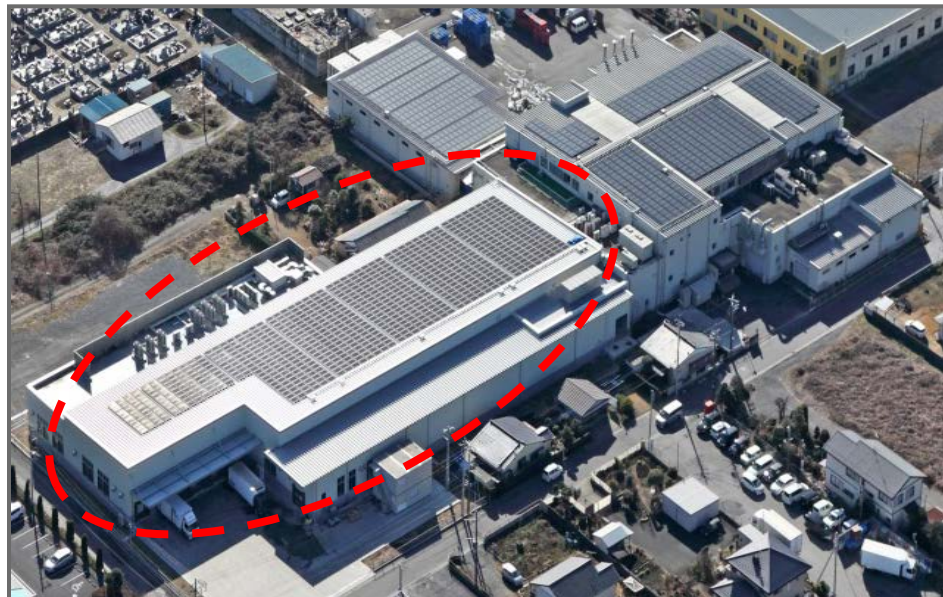
販売数量の推移 (t)



• **過去最高** の販売数量を達成

• **5期連続で増加**

関東工場増設工事の概要



主力である関東工場の増設を行いました。

増築面積は3,283㎡です。

工事費 約17億円（建物、機械装置の増設）。

最新鋭の大型割卵機2機、新型殺菌機1機、タンク類7機、新型充填機2機を設置し、従来の約1.5倍となる年間30,000tの製造が可能となりました。

また、増築した建物の屋根部分には太陽光パネルを増設しました。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

	2016年3月末 (連結)	2017年3月末 (連結)	増減額	主なポイント
流動資産	5,133	5,123	▲10	
現金・預金	1,948	2,138	+190	
受取手形・売掛金	2,057	2,041	▲15	
たな卸資産	1,083	828	▲255	
固定資産	4,497	5,527	+1,030	
有形固定資産	4,355	5,350	+995	関東工場増設に伴う資産増加
資産の部	9,631	10,650	+1,019	
流動負債	3,095	3,135	+40	
支払手形・買掛金	685	678	▲7	
短期借入金	1,517	1,567	+50	
固定負債	2,092	2,645	+552	
長期借入金	1,447	1,966	+519	関東工場増設に伴う新規借入れ
負債の部	5,187	5,781	+593	
純資産の部	4,443	4,869	+425	親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び配当金支払い
負債及び純資産の部	9,631	10,650	+1,019	
自己資本比率(%)	46.1	45.7		

3. 2018年第1四半期の概要

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期 (連結)	2018年3月期 第1四半期 (連結)	増減比
売上高	3,520	3,596	+2.2%
売上原価	2,937	3,035	
売上総利益	583	561	
販売・管理費	416	411	
営業利益	166	149	▲10.2%
経常利益	170	154	▲9.2%
特別利益	—	33	補助金収入
親会社株主に 帰属する 当期純利益	116	121	+3.9%
1株当たり 利益 (円)	14.03	14.58	+3.9%

補助金収入 (百万円未満切捨)

イフジ産業：関東工場 設備助成金 32百万円

セグメント別売上高 単位：百万円 ※セグメント間売上含む

セグメント別	2017年3月期 第1四半期 (連結)	2018年3月期 第1四半期 (連結)	増減率
鶏卵関連事業	3,194	3,316	+3.8%
調味料関連事業	351	284	▲19.0%
その他	6	8	+36.3%

セグメント別利益 単位：百万円

セグメント別	2017年3月期 第1四半期 (連結)	2018年3月期 第1四半期 (連結)	増減率
鶏卵関連事業	135	136	+0.5%
調味料関連事業	28	8	▲69.2%
その他	2	4	+111.0%

鶏卵関連事業

 販売数量は前期比5.3%増
 ⇒マヨネーズ・冷凍食品向けの販売が増加

調味料関連事業

 既存商品の販売や当社グループ内での輸入粉卵の
 委託加工等の販売が減少
 ⇒売上高前期比19.0%減

その他

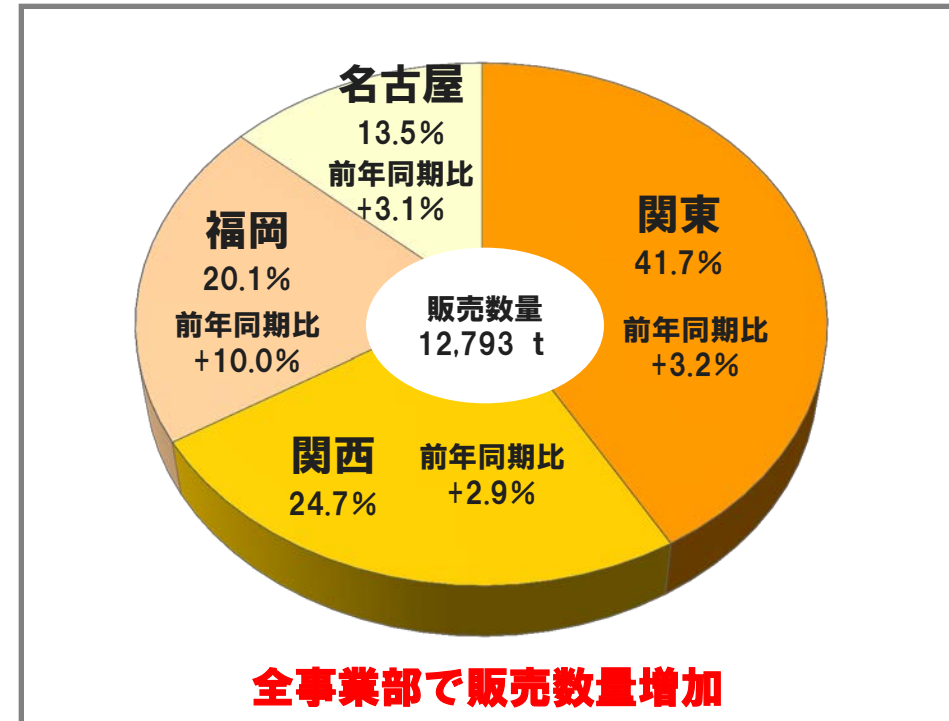
 関東工場で太陽光パネルの増設
 ⇒売上高前期比36.3%増

■要約損益計算書

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期 (単体)	2018年3月期 第1四半期 (単体)	対前期 増減比
販売数量 (ト)	12,148	12,793	+5.3%
売上高	3,200	3,324	+1.0%
売上原価	2,681	2,806	
材料費	1,882	2,029	
売上総利益	518	517	
販売管理費	380	376	
営業利益	137	140	+1.0%
経常利益	160	162	+1.0%
特別利益	—	33	補助金収入
当期純利益	114	131	+1.1%
1株当たり 利益 (円)	13.76	15.70	+1.1%

事業部別販売数量構成比



全事業部で前年同期に比べ販売数量が**増加**。
第1四半期は鶏卵相場が前年より高く推移。

■補助金収入 (百万円未満切捨)
イフジ産業 : 関東工場 設備助成金 32百万円

(13) 2018年3月期通期業績（連結）の見通し

2018年3月期連結業績見通し

(単位：百万円未満切捨て)

	2017年3月期 (連結)	2018年3月期 (連結) (予)	増減比
売上高	14,248	13,940	▲2.2%
営業利益	663	678	+2.2%
経常利益	681	683	+0.4%
特別利益	110	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	533	448	▲16.0%
1株当たり利益	64.04円	53.78円	▲16.0%

鶏卵関連事業

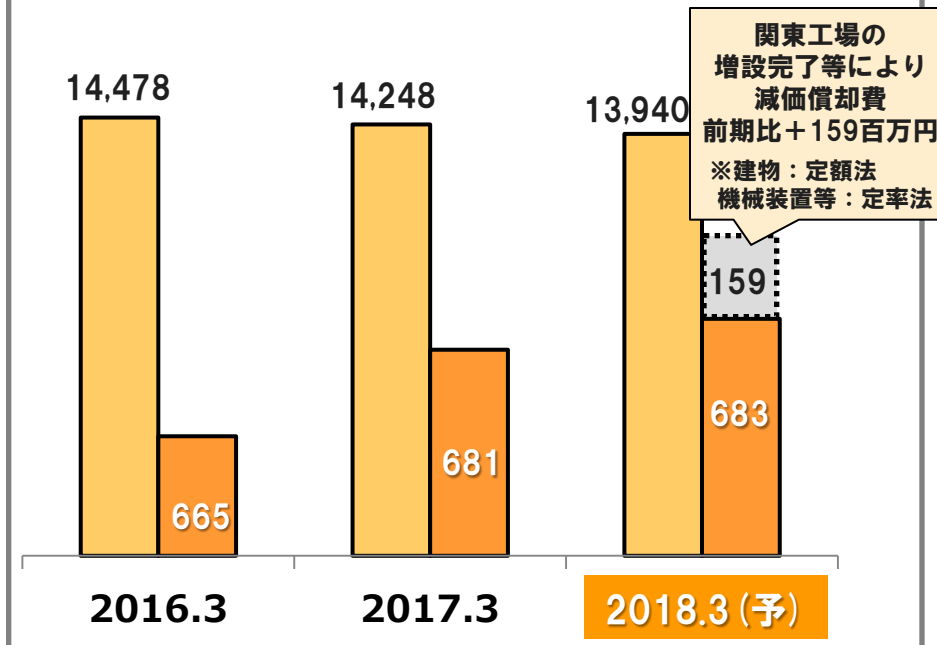
販売数量は1.8%増で過去最高を目指す。

鶏卵相場はやや落ち着くと予想しており、売上高は微減を予想。

4期連続の経常増益を見込む。

連結売上高・経常利益の推移

■ 売上高(百万円) ■ 経常利益(百万円)



■売上高

<鶏卵関連事業>

販売数量1.8%増を目指す 適正価格での販売を重視
製菓製パン以外への販売強化

<調味料関連事業>

大口新規顧客への営業強化 適正価格での販売を重視
顧客ニーズに沿った商品の提案強化
グループ内での委託加工による販売強化(シナジー)

■損益

<鶏卵関連事業>

顧客ニーズに沿った商品の販売による粗利の確保
定期格外卵の調達・需給調整・委託生産により安定調達を進める
関東工場の増設完了等により減価償却費は前期比+159百万円

<調味料関連事業>

生産効率向上によるコスト削減推進

<その他(太陽光発電事業)>

安定した利益の確保

<参考4>最近の業績の推移

■イフジ産業(株) 単体業績推移

(単位：百万円未満切捨て)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期(予)
販売数量(t)	43,919	40,575	42,348	45,779	45,846	47,397	49,789	50,692
売上高(百万円)	10,416	9,516	9,494	11,484	11,971	13,278	13,029	12,682
経常利益(百万円)	524	718	738	265	531	607	644	636
当期純利益(百万円)	82	384	475	※1 160	※2 356	391	503	420

2018年3月の販売数量は5万tを超え、**過去最高**となる見込み。

販売数量は増加するが、次期の鶏卵相場は落ち着くと予想し、売上高は微減する見込み。

増設が完了した関東工場等により減価償却費は前期比+159百万円。

■連結業績推移

	2011年 3月期 (連結)	2012年 3月期 (連結)	2013年 3月期 (連結)	2014年 3月期 (連結)	2015年 3月期 (連結)	2016年 3月期 (連結)	2017年 3月期 (連結)	2018年 3月期(予) (連結)
売上高(百万円)	11,742	10,807	10,657	12,650	13,130	14,478	14,248	13,940
営業利益(百万円)	705	809	786	337	517	642	663	678
経常利益(百万円)	712	817	825	365	531	665	681	683
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	282	433	532	235	388	434	533	448
1株当たり利益(円)	※ 33.91	※ 52.02	※ 63.93	28.30	46.58	52.21	64.04	53.78
1株当たり配当金(円)	※ 12	※ 14.6	※ 16.6	16	11	15	17 (記念配当1円を含む)	16
ROE(自己資本当期純利益率)	9.6%	13.6%	15.0%	6.3%	9.8%	10.2%	11.5%	—

※1：2014年3月期
・鶏卵相場の急騰による割高な当用買いで材料費が増加。
・下期、販売価格の改定を実施も追いつかず減益。

※2：2015年3月期
・前年度下期からの販売価格の改定の効果。
・夏場の原料の買付けが順調に推移。

※ 2013年7月1日付で1:1.5株の株式分割を実施しており、株式分割(1:1.5)調整後の数値で記載。

(14) 2018年3月期 期末配当について

配当方針：経営体質の強化や今後の事業展開を勘案し、**連結ベースで配当性向25%～30%が目標。**

■2017年3月期 年間配当金について

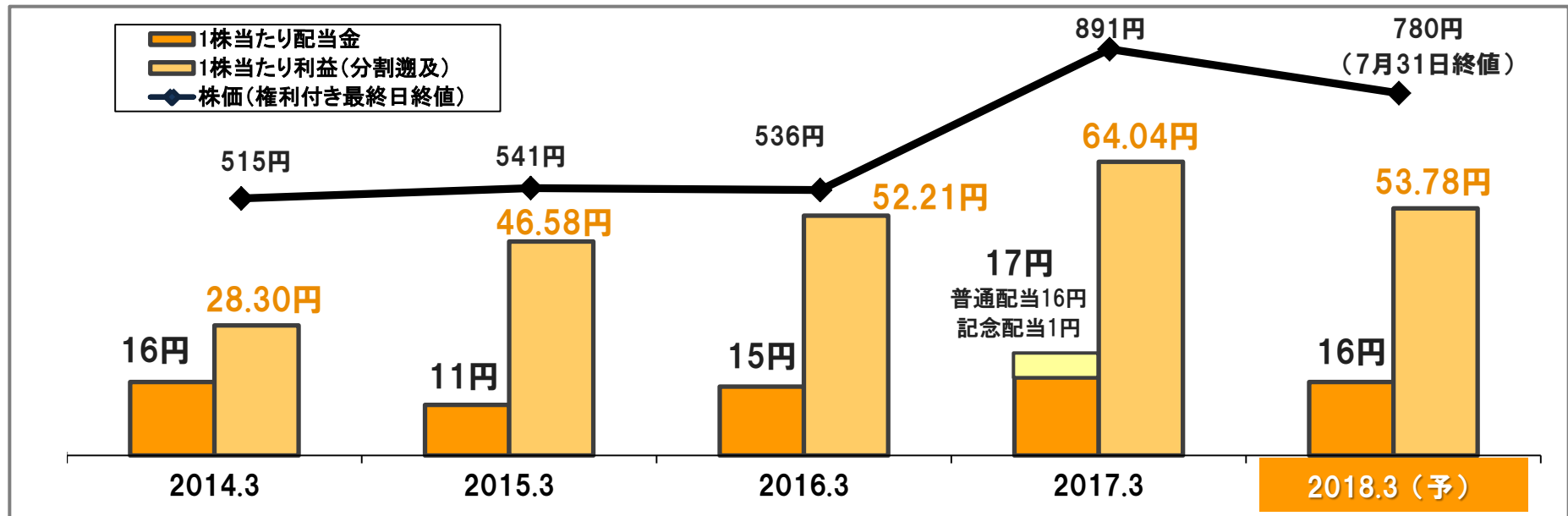
・2017年3月期は1株当たり17円（中間8円、期末8円、記念配当1円）を実施

・2018年3月期は**1株当たり16円（中間8円、期末8円）の配当を計画。**

	2014.3 (連結)	2015.3 (連結)	2016.3 (連結)	2017.3 (連結)	2018.3 (予想)
1株当たり配当金(円)	16	11	15	17 (記念配当1円を含む)	16
1株当たり利益(円)	28.30	46.58	52.21	64.04	53.78
配当性向(%)	56.5	23.6	28.7	26.5	29.8
配当利回り(%) ※1	3.2	2.0	3.0	1.9	—
時価総額(百万円) ※2	4,298	4,515	4,473	7,436	6,317

※1 配当利回りは、権利付き最終日の終値で算出した数値。

※2 株価（権利付き最終日終値）に発行済株式数をかけて算出。



<参考> イフジ産業株式会社 株価推移(市場第一部指定後)



※Yahoo!ファイナンスより抜粋

■全国たまご商業協同組合発行の「たまごギフト券」を、毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対して以下の基準で贈呈。

贈呈基準	毎年9月末日	毎年3月末日
100株以上～1,000株未満の株主様	300円分（100円×3枚）	300円分（100円×3枚）
1,000株以上の株主様	1,200円分（100円×12枚）	1,200円分（100円×12枚）

※全国の主な量販店で卵を購入する際に利用できます。

■たまごギフト券については全国たまご商業協同組合ホームページに詳しい説明があります。

<http://www.tamagoken.or.jp/>



イフジ動画のご紹介

当社ホームページ
(<http://www.ifuji.co.jp/>)にて、
当社紹介動画を視聴できます。



イフジ動画

Ch 2. 「創業者 藤井徳夫に聞く！」

イフジ動画
ch.2 創業者 藤井徳夫に聞く！

創業者 藤井徳夫 インタビュー企画

1. 父の死、産業界手、そして企業へ (1:58)
2. 業界トップの急い見込 (2:58)
3. 創業の覚悟、親子との別荘 (3:58)
4. イフジ産業が生まれる、創業の原点とは (4:58)
5. 節の故で下がること (5:58)
6. 経営のこだわり、ITへの投資 (6:58)

チャンネル一覧

- ch.1 会社案内 イフジ産業とは
- ch.2 創業者 藤井徳夫に聞く
- ch.3 イフジ産業 (株) 紹介動画 「日本屈指！液卵メーカーの強さに迫る！」

Ch 1. 当社の紹介

イフジ動画
ch.1 会社案内 イフジ産業とは

昭和47年設立の液卵専門メーカー。
ここでは、イフジ産業の会社概要を紹介させていただきます。

チャンネル一覧

- ch.1 会社案内 イフジ産業とは
- ch.2 創業者 藤井徳夫に聞く
- ch.3 イフジ産業 (株) 紹介動画 「日本屈指！液卵メーカーの強さに迫る！」

Ch 3. 「日本屈指！液卵メーカーの強さに迫る！」

イフジ動画
ch.3 イフジ産業 (株) 紹介動画 「日本屈指！液卵メーカーの強さに迫る！」

チャンネル一覧

- ch.1 会社案内 イフジ産業とは
- ch.2 創業者 藤井徳夫に聞く
- ch.3 イフジ産業 (株) 紹介動画 「日本屈指！液卵メーカーの強さに迫る！」

一房総味株式会社 (ひとふさそうみ)



一房総味 プレミアム和風だし

- ・だしパック8g×30袋
- ・参考価格 3,564円(税込・送料別)

こだわり

① 『房州節』

房総近海で捕れた鮮度の良い生のサバ、カツオを使用していますので薫りが断然に違います。

② 『手火山式製法』

古来より伝わる完全手作業のこだわりの製法です。

熟練した職人が一尾ずつ強い火力でじっくり燻し乾かし、手間暇かけ手入れしていますので、旨味が凝縮しています。

- ・プレミアムと呼ぶにふさわしい、房州節の柔らかな香りと奥深いうまみが凝縮された逸品です。

通販サイト

<http://hitofusasomi.com/>

検索

業績予想に関する事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、資料作成時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものであり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、万が一、この資料を利用した結果被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

ご清聴ありがとうございました。